

ガザの子どもの夏休み



ビーチで

約2ヵ月半の夏休みをどう過ごすか？。人口150万人のうち6割が15歳以下の子どもであるガザ地区では、大人にとっても悩みの種です。今年は真夏の8月に断食月のラマダンがあり、大人たちは頭を抱えていました。そんな大人たちにとっても、子どもたちが日帰りで数週間通える「サマーキャンプ」は夏休みの一大行事です。いくつかご紹介します。

アトファルナろう学校では、今年は国連パレスチナ難民救済事業機関（UNRWA）と組んだので、敷地内にプールやトランポリンといった少し大型の遊具が登場し、画材や工作の道具などあらゆる活動材料も提供されました。各グループに先生がついて、ビーズやスパンコールを使った貼り絵、色紙を使った凧作り、紙粘土の置物作製や、折り紙のくす玉作りなどが行われていました。アトファルナの子どもたちの作品は本当にカラフルで、教室や廊下の壁一面にいくつもの大きな力作が展示されていました。子どもたちも自分たちが作った作品に満足そうです。

ガザ南部にあるナワール子どもセンターでは、1ヶ月のキャンプのうち半分はセンターで、もう半分はビーチで活動が行われました。いつものように、子どもたちの中からリーダーやサブリーダーを選出して、子どもたちが自分たちで運営するキャンプです。

ガザは地中海に面しているので、ビーチは子どもたちにとっても絶好

の遊び場です。ただし日中のビーチはとても暑いので、グループごとに時間を分けて、屋根付きの広場と交代で子どもたちが遊んでいました。歌や踊り、ハンカチ落とし、綱引きなど、子どもたちは思いっきり身体を動かしていました。



アトファルナでのプール活動

UNRWAが実施している「サマーゲーム」と呼ばれるキャンプでは、子どもたちによるギネス記録への挑戦が目玉です。今年は4つの世界記録に挑戦し、私も外国人審査員として参加しました。

まず「同時にパラシュートゲームをする人数記録」では、パラシュートと呼ばれる大きな布を子どもたちが持って音楽に合わせて演技をし、3520人が176パラシュートでの演技を成功させました。



写真提供：UNRWA

次に「同時にサッカーボールをドリブルする人数記録」では、2,011人の子どもが参加しました。男の子たちはサッカーが大好きなので、みんな競うようにドリブルしていました。3つ目は「ハンドプリント（手形）によって作成した絵の大きさ記録」です。最終的には5,000人以上の子どもが参加し、5,922平方メートル（縦60メートル以上、横90メートル以上）の作品ができあがりしました。最後は「同時に凧揚げする人数記録」への挑戦で、最も規模が大きく、15,000人以上が一斉凧揚げに成功しました。

どのギネス記録にもガザの全土から子どもたちが参加しました。封鎖によってガザ地区から出ることのできない子どもたちにとって、自分たちが世界記録を作ったことは一生の思い出になったはずです。



写真提供：UNRWA